



第三中学校だより

校訓

- 健康な体
- 豊かな心
- たゆまぬ学習

学校教育目標

自主 自律 未来をひらく三中生

～自ら考え、自らの意思で、未来をたくましく生き抜く生徒～

和光市立第三中学校
Tel 048-461-3306
相談室 TEL 461-6698

〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1
ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>

令和4年3月1日発行

「 4つの価値 」

校長 石川 毅

校地内のあちらこちらに梅の花や水仙が咲き誇り、春がそこまで近づいて来ていることを感じさせます。依然として、まん延防止等重点措置期間ではありますが、本校では欠席者数やオンライン授業参加者数は減少し、本来の教育活動の姿に戻りつつあります。令和3年度の締めくくりの3月、生徒一人一人が今年度の課題を振り返り、次へのステップを力強く踏み出してほしいと思います。

話は変わりますが、つい先日、北京オリンピックが閉幕し、たくさんの日本人選手が活躍しました。そして、3月4日からはパラリンピックが開幕します。現在の世界情勢に目を向けると複雑な心境になりますが、「オリンピックの目的は、人間の尊厳を保つことに重きを置く平和な社会の確立を奨励する」とオリンピック憲章にあるように、世界が平和な中での開催になってほしいものです。そして、国際パラリンピック委員会 (IPC) は、競技者の秘められた力として、「4つの価値」を紹介しています。

勇気：マイナスの感情に向き合い、乗り越えようと思う精神力

強い意志：困難があっても、諦めず限界を突破しようとする力

インスピレーション：人の心を揺さぶり、駆り立てる力

公平：多様性を認め、創意工夫をすれば、誰もが同じスタートラインに立てることを気づかせる力

この「4つの価値」に触れたとき、東京オリンピック・パラリンピック招致に貢献し、自らもパラリンピック・トライアスロン選手として出場した谷 真海（たに まみ）さんの「自分に限界をつくらない」という言葉を思い出しました。「何かにチャレンジする前から『頑張ってもきつとこの程度だな』『努力しても、多分このくらい。それ以上は無理だろう』と自分でフタをつくっていた。しかし、パラリンピックに挑戦するようになって、限界のフタを取り払い、どんどんチャレンジすればいいということを学び、もし失敗しても、また元に戻ればいいんだ。」と思えるようになったと語っていました。パラリンピックの「4つの価値」に後押しされたようなこの考え方は、先行きが見えにくいこれからの時代だからこそ、力強く生き抜く意志や励ましのメッセージが込められているように感じます。

三中生にも、「4つの価値」を内に秘め、明るい未来を築ける力を養ってほしいと願っています。



3年生の球技大会の種目は、サッカーやバレーボール、台風の目や大縄など多岐にわたって盛り上がっていました。